

【取組内容①】 学習支援ソフト等を活用した主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践

I 授業におけるGIGA端末の主な活用場面

◆ 学習課題に取り組む

- ① ポートフォリオ・資料を各自のGIGA端末に配信する
- ② 検索エンジンの活用
- ③ 自分の考えを表現する

◆ 自分の考えを表現する

【クラウドの活用①】 学習支援ソフト等を活用した取組

◆ 自らの学びを振り返る

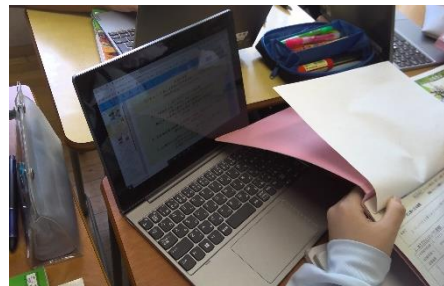
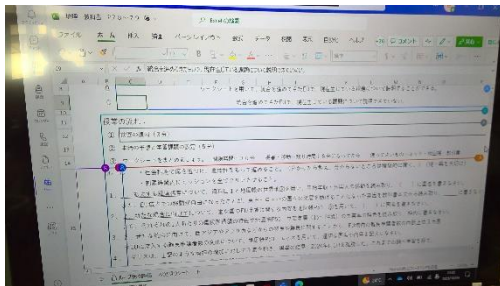
【クラウドの活用②】 Teams・Excel・Forms等を活用した取組

II 授業実践【1年社会科】

【導入場面1】 Teamsで共有されているポートフォリオを確認し、本時の流れを各自で確認します。

【導入場面2】 問いに答えながら、前時に学んだことを復習します。

【導入場面3】 「本時の学習課題」に対する予想を考える手だてとなる資料を配信します。



【展開場面1】 学習支援ソフトより各自のタブレット端末に配信された資料を活用して、学習課題に取り組みます。



【展開場面2】 配信された資料や検索エンジンを利用して、新しく学ぶ語句の意味や興味をもった事柄について調べます。



【取組内容①】 学習支援ソフト等を活用した主体的・対話的で深い学びを目指した授業実践

【展開場面3】 カメラ機能を活用することで、他の班とも考えを共有することができます。



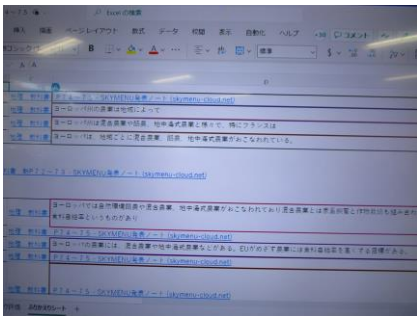
【展開場面4】 自分の考えをわかりやすく表現するために、配信されている資料を編集しています。



【展開場面5】 級友と学び合いをしたり、黒板を使って全体共有をおこなったりして、更に学びを深めます。



【終末場面】 TeamsにExcelの「振り返りシート」を添付して配信することにより、リアルタイムで各自の振り返りを共有することができます。



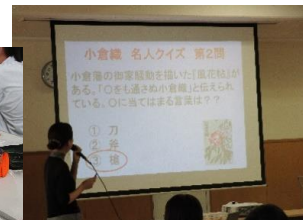
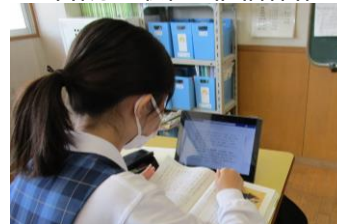
Ⅲ 実践を通して

- ◇ 県外視察で学んだGIGA端末の効果的な活用に関する研修、学んだことを取り入れた授業実践、さらに公開授業など、研究主任を中心とした部会が積極的に情報を発信しています。こまめに情報発信を行うことが活用のヒントとなり、自分なりに活用方法をアレンジするなど、教員のチャレンジの幅が広がっています。
- ◇ 授業での活用や学年の取組（1年生：小倉城下班別研修、2年生：修学旅行新聞など）でGIGA端末を活用する場面が増えています。生徒たちは他者との意見共有の場面や掲示物等の編集のしやすさなどで、端末の活用には有用性を感じているようです。



班別研修の取組（1年生）

音読の取組（国語科）



小倉織の授業（家庭科）